

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名		国際深海掘削計画		担当部局庁	研究開発局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度		平成15年度開始～平成22年度		担当課室	海洋地球課		海洋地球課長 井上 諭一	
会計区分		一般会計		施策名	X-3 環境・海洋分野の研究開発の重点的推進			
根拠法令 (具体的な条項も記載)		-		関係する計画、通知等	統合国際深海掘削計画(IODP) (平成15年に文部科学大臣及び米国国立科学財団長官との間で当該計画の覚書に署名)等			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		本事業においては、日米覚書に基づきIODP事務局経費を支払うことにより、日本が米国とともに主導国として本計画を推進することを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)		IODPは、日米を主導国とし、日本が提供する地球深部探査船「ちきゅう」及び米国の科学掘削船等を用いて深海底を掘削し、地球環境変動、地球内部構造、地殻内生命圏の解明等を目的とする多国間国際協力プロジェクトである。日本が米国とともにIODPの主導国として本計画を推進するため、日米覚書に基づきIODPにおける科学掘削計画の立案、運営及び管理に必要なIODP事務局の経費として年間1.0百万ドルの分担金を支払う。						
実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)				20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求
		予算 の 状 況	当初予算	123	113	99		
			補正予算	0	0	△5		
			繰越し等	0	0	0		
			計	123	113	94		
		執行額		123	108	94		
		執行率(%)		100%	95.6%	100%		
成果指標及び成果実績 (アウトカム)		成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
日本からの研究航海乗船者数 (ただし、目標値を設定することは困難(年度毎に研究航海件数が異なり、また掘削船毎に乗船者数が異なるため)。また、本分担金を支払い、IODPに参画することにより、我が国にとって研究活動の国際化、外国からの掘削・計測技術の移転などの効果がある。)		成果実績		人	7	68	46	-
		達成度		%	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
定量的な活動指標を設定することは困難(IODP分担金の支払いであるため)		活動実績 (当初見込み)		-	-	-	-	-
単位当たりコスト		単位当たりコストを設定することは困難(IODP分担金の支払いであるため)		算出根拠	-			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
				※平成22年度限りの経費				
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	平成21年度の行政事業レビューの指摘を踏まえ、平成22年度をもっていったん廃止し、平成23年度は「海洋地球・環境分野の研究開発の推進とともに「海洋分野の研究開発の推進」へ整理統合した。その際、外国関係旅費に係る積算を見直し予算の縮減を図った。		
予算監視・効率化チームの所見			
	—	平成21年度レビューの指摘を踏まえ、平成22年度をもって廃止の上、他事業と整理統合している。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
		—	
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
		—	

文部科学省
94百万円

〔 IODP分担金の拠出 〕

【IODP分担】 ↓

A. 米国国立科学財団
94百万円

〔 IODP参加国からの分担金の徴収・IODP事務局への送金 〕



B. IODP事務局
94百万円

〔 IODP事務局の運営・管理、
技術開発、データマネジメント、
出版、広報 〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.米国立科学財団			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
国際深海掘削計画分担金	IODP事務局経費	94			
計		94	計		0
B.IODP事務局			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
国際深海掘削計画分担金	IODP事務局経費	94			
計		94	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

※分担金

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	米国国立科学財団	IODP参加国からの分担金の徴収・IODP事務局への送金	94	—	—

B.

※分担金

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	IODP事務局	IODP事務局の運営・管理、技術開発、データマネジメント、出版、広報	94	—	—